

学校教育目標

意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】

剛健で、実践力のある生徒【実践力】

77日間の1学期を振り返って ～それぞれの成長そして更なる向上へ～

77日間にわたる1学期が終わり、明日から夏休みが始まります。1学期を振り返るとたくさんの成果をあげることができます。また、課題については、生徒の成長を図る上で大切な事柄ですので、終業式で共有し、2学期以降の取組を生徒・職員のそれぞれで考え、実行に移していきたいと考えています。

【成果】

【課題】

クラスの仲間と 先輩後輩と
心を一つに あいさつ 
達成感 感動 規律
協力団結
自主行動 自己の役割を果たす

誰かの役に立つ **整理整頓**
メディアルール
磨 自主学习 他者意識
なりたい自分 
ありたい生き方

○全校が一体となって成功させた体育祭

- ・集団行動の意義を理解し、集団で協力して取り組む力を身につけました。(協力団結・達成感)
- ・組団の勝利のために、各自の役割を理解し、自ら考え行動する姿が見られました。(自主)

○日々の練習で鍛えた技と心(地区中総体)

- ・設定した目標に向けて、チーム全員で力を合わせて日々の練習に励みました。(心ひとつに)
- ・異年齢の関わりの中で、上級生及び指導者との関わり方を学びました。

○授業規律の向上

- ・昨年度よりも授業規律が高まりました。(規律)
- ・班やグループでの対話による考えの交流が理解を深めています。

○メディア利用のルールを決めて守る

- ・まなびフェストの項目にある内容ですが、生徒評価が低かったです。家庭のルールは？守っていない？いずれにしても、学習面、生活面、健康面に大きく関わる問題です。

○清掃・整理整頓 = 心を磨き己を成長させるもの

- ・開始時間を守り、時間いっぱい隅々まで清掃に励む。⇒地道な作業を大事にする ⇒ 公共道徳心 ⇒ 地域社会や誰かの役に立つ ⇒ 幸福度アップ

○なりたい自分・ありたい生き方を

- ・皆さんの将来はどのようになっているでしょう。理想の自分や生き方を思い描きましょう。数年後には義務教育を卒業し、社会へ向かって皆さん歩き出すのです。

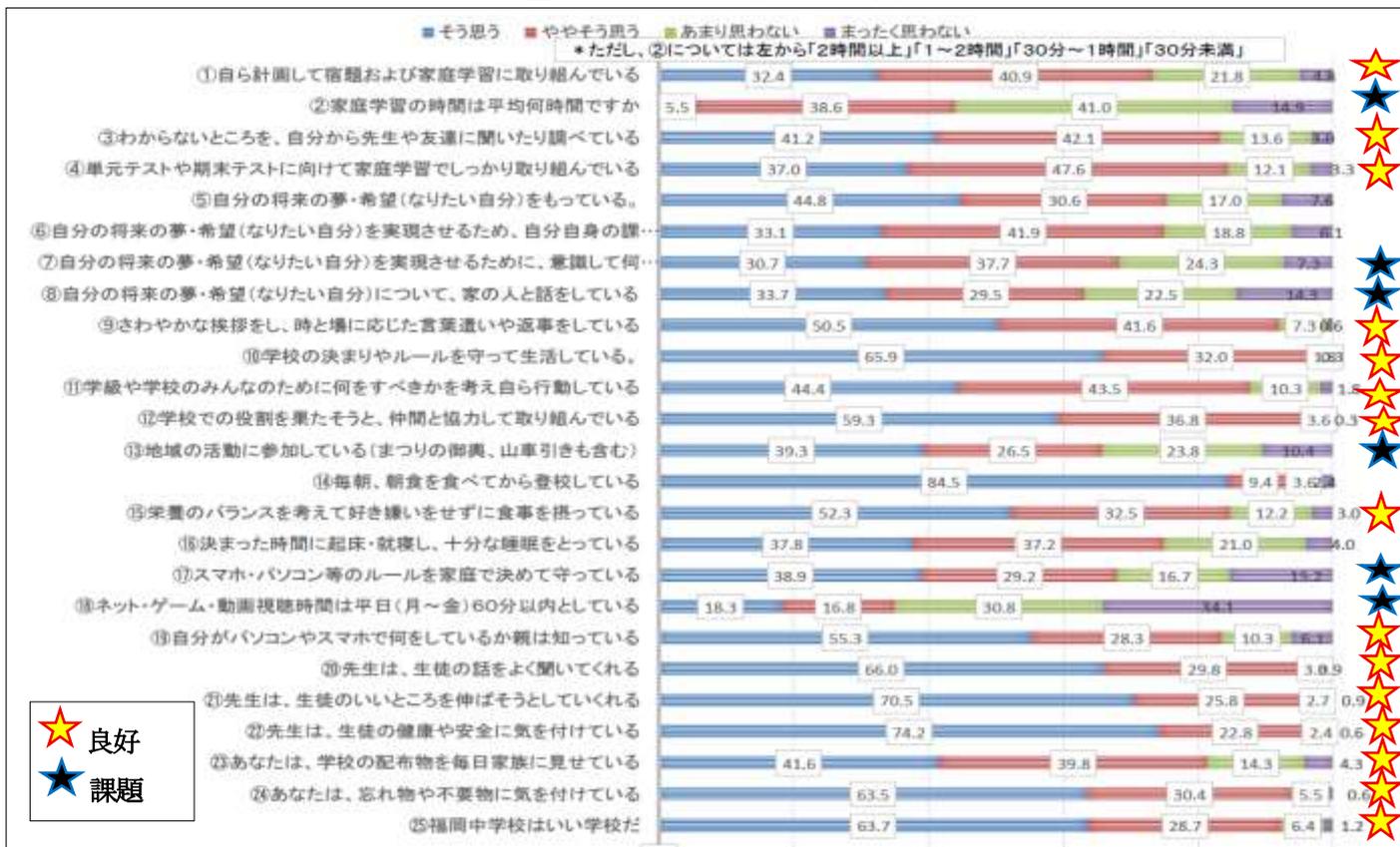
格好いい仕事とは？「大人に学ぶキャリア講演会」の1場面から

7月11日(金)に開催した「大人に学ぶキャリア講演会」では、14名の講師の皆様から貴重なお話を拝聴しました。その中で、印象に残った小保内さん(ダスキン二戸代表)の話をご紹介します。

小保内さんの仕事の根底には、「地域課題」があるそうです。地域課題を解決する方法をビジネスにすることで売り上げを伸ばし地域に貢献しています。その発想はどのように生まれたのかというと、本や新聞をたくさん読み社会情勢を把握すること、「課題があれば利用する チャンスがあれば掴む」という考えがもとなっているそうです。格好いい仕事とは何か？「情熱をもって一生懸命やっているその生き方が格好いい」。昔から、チャレンジ精神旺盛だった小保内さん。素敵なお話をありがとうございました。



「学びフェスト」は何を物語っているのか!?



今年度変更した⑪⑫(考えるから実行する)は、どちらも目標を大きく超えました。①計画して学習に取り組むは、目標数値 70%をかなり超えました。⑭朝食は、目標の 95%に惜しくも届きませんでした。大きな課題は、⑰「スマホ等のルールを家庭で決めて守る」が目標85%に対し68.1%でした。家庭のルールを決めて守ることは、子どもを事件・視力低下・睡眠不足等から守るための重要項目です。家族でしっかりと話し合ひましょう。

【中体連関係】東北中学校総合体育大会

- 剣道競技 8月5・6日(北上市) 女子団体
(吉澤夏月 五日市詩音 齋藤虹琴 泉山央都 田中珂帆 檜澤ひいら 松本唯愛 初森桜)
- 水泳競技 8月9～11日(秋田市)
(米澤大雅 松田麗依 馬場喬子 泉山有夏 西館瑛那 菅原帆乃 駒木花 下崎穂乃香 近藤美玖)

- 第59回全国道場少年剣道大会 7月30日 日本武道館
(先鋒:吉澤夏月 中堅:田中珂帆 大将:工藤 汰一)
- 第9回花蓮太平洋能高野球祭全国野球選手権大会 7月25～30日 台湾花蓮市
(高下讃士郎:姫神リトルシニア、角田夢希:盛岡東リトルシニア)
- 第33回全国中学生空手道選手権大会 8月15～17日 長野市
(東山蒼志:魁縁道場、柴田咲来:九戸塾)
- 第10回全日本中学女子軟式野球大会 8月21～27日 京都府
(椋沢千桜:岩手絆ヴィーナス)
- 第4回全農全日本中学生カーリング選手権大会 7月25～27日 新潟市
(泉山央都、立花美結、久保田美波、松本唯愛)

全国に挑む選手!!



仲良し4人 全国V挑む

中学生カーリング 初出場・福岡チーム

「二戸」カーリング選手権(25、27日、新潟市)に初出場する三市の福岡中2年の4人は、2日、市役所を訪れ、藤原淳市長に意気込みを語った。メンバーは泉山央都さん、立花美結さん、久保田美波さん、松本唯愛さん。司令塔のスキップを務める泉山さんは「初の良さをうまく取り、優勝を目指すと決意を示した。」

藤原市長は「練習環境に恵まれない中、工夫と努力で実力を身につけた。市民も期待している」とエールを送った。

4人は小学5年生からチーム「フェテグラス」を組む。それぞれ活動や課外活動に励みながら、選手間、盛岡市のみならず、ココア・コーラボトリングリンクで技術を磨く。5月に盛岡市で開催された選手選考優勝し、結成4年目で初の全国大会出場を決めた。

全国大会に向けて集合を入れる(左から)泉山央都さん、立花美結さん、久保田美波さん、松本唯愛さん

岩手日報
令和七年七月五日付。
この記事は、岩手日報社の許諾を得て転載しています。

全国大会に出場する4名は、全国大会出場が決まった後、相談があると校長室にきました。「最後の大きな大会になると思うので、福岡中学校というチーム名で出場していいですか？」わたしは二つ返事で「喜んで。ぜひ福岡中の名を全国に広めてください」と快諾しました。福岡中を愛し、二戸を愛す生徒が着実に育っていることを嬉しく思います。